

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年3月22日

事業所名 コロニー児童デイサービスまえじま(発達支援)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	児童の人数や特性、その時の情緒によっては不足していると感じる時もあるため、活動のプログラムによってスペース設定や言語訓練の個別で集中できるスペース設定をしている。	指定基準には適合していますが、カーンダウンエリアやST室の確保が難しい為、児童の安心できる場所や訓練が集中して行える環境を整えていきます。
	2	職員の配置数は適切である	5	2	配置基準は満たしているが、児童の人数や特性、職員の急な休みがある時には、配置数が少ないと感じる事があるため、その時は児童の安全面を優先しながら活動内容の変更をして支援を行っています。	・児童の特性によっては配置数が少ないと感じる事もありますのでその時は児童の安全面を優先しながら活動内容の変更をして支援を行っています。 ・急な職員の休みがあった場合は、職員同士でシフト調整等の協力をしながら、児童へのサポートを実施できるよう努めます。 ・状況に応じた支援体制を構築できるように、研修等を通じて支援力を高めていけるよう努めます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		・床材はクッション性のあるカーペットを使用、トイレには転倒防止の滑り止めの上からクッションシートを使用しています。 ・事業所の入り口は段差なくバリアフリー化の対応をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		・午睡スペースは活動の場とカーテンで仕切る等、落ち着いて入眠できる環境作りをしています。 ・毎日清掃を行っており、おもちゃ等はアルコール消毒、空気清浄器・加湿器・エアコンを使用し午睡時や児童の体調に合わせて気温調整をしています。	日頃から衛生管理を徹底し、清潔で過ごせるように環境を整えています。
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	全員で情報共有を行えるよう、月1回職員ミーティングを実施し、業務改善や活動計画の確認等を行っています。	今後も、毎月、職員全員でのミーティングを実施し取り組んでいきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			評価表を見直ししながら職員ミーティングで話し合いを行い、改善の必要な点は見直しを行います。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6		評価の結果で外部より指摘がありましたら改善を行っていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	・支援方法や虐待防止等の研修を代表職員が受講し共有しています。 ・全職員が参加できるような研修の持ち方を検討したい。(講師を招く・動画活用等)	コロナ過での研修が計画できず、次年度は職員の資質向上を行うため研修の計画を検討し実施したい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		管理責任者が中心となり、定期的に保護者と面談を行いアセスメントを実施し支援計画を作成しています。	職員へのモニタリングを行い、子どもと保護者のニーズを分析しながら計画作成を行っています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			新しくアセスメントツールが導入された為、今後活用しながら計画作成を行います。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	1	月1回の職員ミーティングや朝のミーティングで支援の計画・確認を行っています。	支援内容について話し合いを行っています。 全児童の内容を把握できて、ニーズに沿った支援目標を設定していきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		職員全体でプログラムを立案し、そのプログラムが適切な療育方法になっているかも検討確認している。	活動プログラムのリーダーにより、楽しく参加できるように色々な立案を取り入れています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		活動の目的に沿って継続して行うプログラムはあるが、発達年齢に応じて工夫しています。 毎月担当職員を決めて、多様なプログラムを用意し月の中で同じ活動がないようにしています。	成長段階に合わせた活動内容の設定を実施していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	1		集団への適用段階を意識し、発達の状況を見ながら計画作成を行っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		事前に職員ミーティングにて役割分担をし、実施する当日にもミーティングを行い、確認しています。	活動内容や役割分担を確認し、役割分担も再度確認を行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		個別記録等を記入する際に職員間で振り返りを共有しています。	その日の児童の様子や保護者からのお話を確認して、申し送りに記入し、職員間の共有を行っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		午前の様子、午後の様子を分けて記録を行っています。	課題に対する支援内容や経過、その結果等、具体的な記録の記録方法を高めていけるよう努めます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		モニタリングを行い、確認しています。	個別記録を確認しながら成長・発達の状態を確認して評価も活かしながら見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			支援が必要な場合は相談支援専門員・関係機関と連携していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	1		対象児童が在籍している場合は行っていますが、現在は対象児童は在籍していません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	1		現在対象児童は在籍していません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			相談支援専門員との連携により会議を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1		相談支援専門員との連携により会議を行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2		専門機関を利用している児童の保護者から伝達がありますが、直接の助言や研修機会を設けられていないので、今後、検討していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	2		利用児童の2/3が保育園・こども園に通園しており、コロナの影響も考慮した上で、今後、交流機会を作れるよう検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	2		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		連絡帳や送迎時において、日々状況を伝えあっています。	送迎時に保護者とコミュニケーションを図る中で情報を共有するように心がけています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	3		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			契約時に説明を行っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	1		説明を行い保護者様に理解を頂いた上でサインを頂いています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5		コロナの影響を考慮した上で、今後の開催を検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7			職員間で話し合いをして適切に対応しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			連絡帳や毎月の月間計画を作成して活動内容を発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			個人情報の取り扱い等は十分に注意をして対応しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			特性に応じた配慮を行っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1		防犯マニュアルに関しては想定した訓練がないので今後の課題として取り組んでいきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			活動プログラムに年3回の避難訓練を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7			契約時に保護者に服薬や発作等の確認を行い緊急時の対応を確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			医師の指示書ではなく保護者との連携を行っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1		常に職員が見れる場所に置いています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			研修会に参加し研修報告にて連携できる体制を整えていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1		現在対象児童は在籍していません。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。